

保護者の皆様

札幌市立西岡南小学校

校長 小川 泰弘

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年4月17日、全国の6年生を対象として「全国学力・学習状況調査」が実施されました。この調査は、6年生の学力と学習状況を把握するために実施されています。今年度の内容は、「国語」「算数」「理科」「児童質問紙調査」となっています。

この調査は、6年生の4月段階での学力の傾向を示し、学習内容を把握することで、本校児童の傾向を推しはかる上での重要な資料となるものです。

【国語】 本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要

【学習指導要領の領域等】

- ◆「言葉の特徴や使い方に関する事項」
全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- ◆「情緒の扱い方に関する事項」
全国平均を上回っている。
- ◆「我が国の言語文化に関する事項」
全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- ◆「話すこと・聞くこと」
全国平均を上回っている。
- ◆「書くこと」
全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- ◆「読むこと」
全国平均を上回っている。

今回の調査における課題

- 「書くこと」
 - ・ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- 「読むこと」
 - ・ 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。

改善の方向



- 「書くこと」
 - ・ 文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にする学習活動の充実。
- 「読むこと」
 - ・ 書き手がどのような事実を理由や事例として挙げているかを書き出し、書き手の考えを自分の言葉で短くまとめるなど、内容の中心となる事柄を捉える学習活動の充実。

【算 数】 本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要

【学習指導要領の領域等】

- ◆「数と計算」
全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

- ◆「図形」
全国平均とほぼ同程度である。

- ◆「測定」
全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

- ◆「変化と関係」
全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

- ◆「データの活用」
全国平均を上回っている。

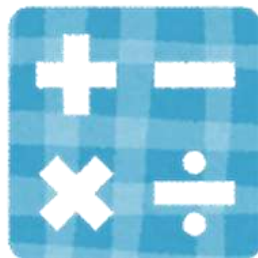
今回の調査における課題

- 「数と計算」
 - ・異分母の分数の加法の計算をすること。

- 「図形」
 - ・基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述すること。

- 「測定」
 - ・はかりの目盛りを読むこと。

- 「変化と関係」
 - ・「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すこと。



改善の方向

- 「数と計算」
 - ・小数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して数の相対的な大きさについて理解し、既習の整数の加法に帰着できるようにする学習活動の充実。

- 「図形」
 - ・どのような図形に分割したのかを明らかにして、分割した図形の面積を求めるために必要な辺の長さなどを捉え、その図形の面積を求めることができるようにする学習活動の充実。

- 「測定」
 - ・身の回りのものの大きさを単位を用いて表現する学習活動の充実。(アナログ針の読み方の習熟—示されたはかりの最小目盛りの大きさに着目することを大切に—)

- 「変化と関係」
 - ・基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えるために、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を考察できるようにする学習活動の充実。

【理 科】 本校の調査結果の概要及び改善の方向

本校の調査結果の概要

【学習指導要領の領域等】

◆【A区分】

「エネルギー」を柱とする領域
全国平均を下回っている。

◆【A区分】

「粒子」を柱とする領域
全国平均とほぼ同程度である
が、やや上回っている。

◆【B区分】

「生命」を柱とする領域
全国平均とほぼ同程度である
が、やや上回っている。

◆【B区分】

「地球」を柱とする領域
全国平均を上回っている。



今回の調査における課題

「エネルギー」を柱とする領域
・乾電池のつなぎ方について、
直列つなぎに関する知識が身
に付いていること。

「粒子」を柱とする領域
・身の回りの金属について、電
気を通す物、磁石に引き付け
られる物があることの知識が
身に付いていること。

「生命」を柱とする領域
・レタスの種子の発芽の条件に
ついて、差異点や共通点を基
に、新たな問題を見だし、
表現すること。

「地球」を柱とする領域
・赤玉土と粒の大きさによる水
のしみ込み方の違いについ
て、結果を基に結論を導いた
理由を表現すること。

改善の方向

「エネルギー」を柱とする領域
・ものづくりでできた装置を言
葉や図に表現したり、言葉や
図から装置を再構成したりす
るなどして、学習を通して得
た知識の理解を深める学習活
動の充実。

「粒子」を柱とする領域
・学習した知識を身の回りで見
られる事物・現象と関係付け
たり、様々な内容で習得した
知識を整理したりして、物質
の性質に関する理解を深める
学習活動の充実。

「生命」を柱とする領域
・問題を見い出す力を育むため
に、観察、実験の結果を比較
して、差異点や共通点を基
に、具体的な条件に着目し、
一人一人が見い出した問題を
ノートに書くなどの、思考し
表現する学習活動の充実。

「地球」を柱とする領域
・より妥当な考えをつくりだす
力を育むために、観察、実験
などの結果を基に、具体的な
数値や事物・現象の変化など
の根拠を明確にして自分の考
えをつくりだし、表現する学
習活動の充実。

【児童質問紙】 生活・学習の様子

今回の調査では、71項目にわたって生活習慣、学習意欲、学習方法、学習環境等についての質問紙調査も実施されました。ここでは、本校児童の回答の中で、比較的肯定的な回答が多かったものと低かった項目を中心にお知らせいたします。肯定的な回答については、今後も伸ばしていけるように工夫して取り組んでまいりたいと思います。

肯定的な回答が多かったもの	否定的な回答が多かったもの
○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。 ○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 ○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。 ○学校に行くのは楽しいと思いますか。 ○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。 (よくある・ときどきある)	▼新聞を読んでいますか。 

